

乙女高原が好き！0901号

2008年度総会 新しい世話人の皆さん、 2年間よろしくお願ひします

3月15日(日)午後1時半から会場準備。あっという間に準備が終わり、午後2時、総合司会の竹居さんの開会宣言。いよいよ総会が始まりました。ファンクラブの普通会員は230名ですから、総会が成立する過半数は115名です。委任状114通。出席者22名。計136名で、総会成立です。

山梨市からは中村市長さんからメッセージをいただき、観光課の佐野さんが参加してくださりました。

議長は古屋さん。植原から2008年度活動報告、坂田さんから2008年度決算報告、三枝さんから会計監査報告がありました。3議案とも承認されました。続いて、植原から2009年度活動計画と2009年度予算の提案がありました。一部修正の提案があり、シカ柵設置は2010年度に行うことになりました。これらの議案も承認されました(同封の総会資料は、修正したものです)。

そして、いよいよ世話人の選出です。12人が立候補してくださったので、会員の皆さんから承認をいただいた後、世話人の互選で3人の代表世話人を選出し、総会に報告しました。

第5期の世話人の皆さんは以下の方々です。

第5期世話人(2009～2010年度)
(敬称略。アイウエオ順)

植原 彰, 三枝かめよ, 坂田英明, 鈴木としえ,
高橋 徹, 竹居小枝子, 内藤邦雄, 芳賀月子,
古屋利雄, 宮川 修, 村田 浩, 由井建蔵

代表世話人

古屋, 坂田(会計兼務), 植原(事務局兼務)



メッセージ

2008年度乙女高原ファンクラブの定期総会が開催されますことを心からお慶び申し上げます。

ここにお集まりの乙女高原ファンクラブの皆様方は、乙女高原の自然を守るため、精力的に環境保全活動に取り組んでいただいております。

「春の遊歩道づくり」、「秋の草刈作業」、「乙女高原フォーラム」等を、山梨県・山梨市・乙女高原ファンクラブの三者による共催事業として、永年にわたり実施いただいております。

この行政と市民団体との協働の事業成果が認められ、「環境大臣表彰」、「コココーラ環境教育賞」、「やまなし環境財団若宮賞」、「やまなし山の日イベント賞」を受賞されました。

また、毎年、乙女高原の環境保全・環境保護のためのテーマを決め、新しい課題研究に取り組まれていることに対しまして、深く感謝と敬意を表するものであります。

昨年5月26日には、多目的ダムとしては日本一標高の高い「琴川ダム」も竣工となり、乙女湖・乙女高原周辺は、山梨市の新たな観光スポットとして多くの人々が訪れるものと思われます。

人気の高い乙女高原であります。訪れる方々が美しい自然を満喫していただけるように、今後も乙女高原ファンクラブの活動にご期待をいたしますと共に、活動の輪がますます広がって参りますようお願い申し上げます。私のご挨拶とさせていただきます。

平成21年3月15日

山梨市長 中村 照人

中村山梨市長さんから届いたメッセージ

世話人の皆さん、立候補ありがとうございました。2年間、よろしくお願ひします。

会員の皆さん、世話人の皆さんは乙女高原の自然を守るために骨を折ろうと、自ら立候補されたの方々です。ぜひ、ご協力をよろしくお願ひします。

「ススキが多すぎる。対策を求める意見が出されているはずだが、どうなっているのか」、「アサギマダラのマーキング調査では、調べ隊以外の日にもマーキングする人がいた。マーキングの日は限定すべきではないか」、「案内人になっても、イベントが多くて楽しめないなどの理由で抜けていく人がいる」、「区長会、財産区、観光協会等に充て職として世話人会に入ってもらったらどうか」、「記録写真は、予算の効果的執行という意味でも、今後もデジカメで」など、意見もたくさん出されました。今後の課題にしていきたいと思ひます。

新しい世話人の皆さんからのメッセージ

アイウエオ順

植原 彰さん:新しい任期の2年間も今までのように努力したいと思います。宜しくお願いします。

三枝かめよさん:乙女高原案内人養成講座によって、多くの方が乙女高原案内人として育って来ていると思います。今のところ、ファンクラブの行事は世話人で準備していますが、案内人の皆様にも、1年に一つの行事でいいので、準備から参加していただきたいと思います。

坂田英明さん:「乙女高原FC」のホームページにアクセスして、「クラブの概要」のサイトを眺めてみると2001年4月22日の「第1期世話人」の皆さんの写真が掲載されていましたが、あの当時から比べると会員も飛躍的に増えて、それだけ「乙女高原FC」の運営に関しても多種多様な考え方をを持った方々が参加されるようになっていないでしょうか。今年の総会の席でもその雰囲気は良く出ていた様な気が致します。これからの世話人としての2年間は、FC設立当時の趣旨「自然が好きだ」「乙女高原が好きだ」を原点に、新しい見地からの意見も積極的に取り入れて、且つ無理のないFCの運営に関わりたいと思います。

鈴木としえさん:いつも乙女高原で乙女ちゃんをやっています。永遠の乙女ちゃんです。カメラは続けてやります。乙女ちゃんは腰が曲がってもがんばります。

高橋 徹さん:さて、クラブは今、「ズレまくった意識・感覚」に蝕まれています。「ズレまくった意識・感覚」に苛まれ、嫌気が差し、活動の第一線から身を引かれてしまった方々がおられます。人の心が離れていってしまう原因がクラブの中にあるのです。こうした現状に私は強い危機感を抱いており、取り返しが付かなくなる前に何とかしなくては！と思っております。「ズレまくった意識・感覚」の修正には、「良識」が不可欠です。皆様のご協力をお願い申し上げます。

竹居小枝子さん:今まで乙女高原ファンクラブの世話人として勉強してきたことを、新しい世話人の皆さんにしっかりと伝えていきたいと思います。

内藤邦雄さん:案内人となって5年、世話人として2年が早や経ちました。世話人として2期目をむかえるにあたり、改めて活動の原点としてファンクラブのルーツ・目的(乙女高原メールマガジン 101号参照)を心にして、いつまでも好奇心を失わずに行動していきたいと思います。

芳賀月子さん:昨年案内人になったばかりで、まだ早いかなと思いますが、心が少し急いでいます。大好きな乙女高原といっぱいふれ合いたい。花や蝶や虫、鳥、その他すべてと仲良くなりたいです。よろしくお祈りします。

古屋利雄さん:再度、世話人として参画させて頂く事になりました。ご期待に添えぬ面もあるかと思いますが、よろしくお祈りいたします。今年も総会に於てご承認頂きました諸事業がスムーズに遂行出来ますよう頑張ります。

宮川 修さん:昨年第4期案内人になって、乙女高原の自然など様々なことを学び、経験させて頂いたこととても良かったと思います。特にアサギマダラやマルハナバチの調査、子どもと一緒にいかない、虫嫌いだった子がアサギマダラやマルハナバチを実際見て触れる事が好きになったこと、自然の大切さを感じてくれたこと、また、草刈りボランティアで働くことの意味や草刈りをやることによって乙女高原の春に再び草花や動物たちの活動が見られることはとても感動的であり魅力的だと思います。このすばらしい乙女の自然を次世代に残し、もっと多くの人たちに知って頂き守っていききたいと思いました。二年間世話人として皆さんと協力してできることは何でもしてゆきます。わからないことが多々あるかとおもいますが、ご指導の程よろしくお祈りします。

村田 浩さん:乙女高原への活動や「案内人」の活動もまだ日が浅く、高原に関する知識や自然保護に対する知識も他の皆様と比べ、ものにならない程乏しい現状です。一日も早く同じレベルの話ができるよう勉強していきたく思います。山梨市の駅前です仕事をしていまして、商工会、法人会、ロータリークラブ等々に加入しているので、広報活動等に利用していただければ役に立てるといいますし、市民会館には週2~3回は通っていますので、何かできることがあればと思います。

由井建蔵さん:

乙女高原での地中温度の測定で感じたこと

原 澄（乙女高原案内人）

乙女高原入口道路脇の駐車場にある掲示板の花暦を見て、最近の開花傾向と比較して見ようと計画しました。H20年の初春からの毎週末を観察日と決め、第1期案内人の鈴木としえさんに応援をお願いして、9月初旬まで観察を続けました。第1日目の4月20日の草原は枯れ草で茶色一色、春の芽吹きはまだ先のようです。そこで、草原の温度計測を観察項目に加えました。文献等で調べると地中の温度がほぼ安定していることを知り、地中、地表、地上の温度を測定することにしました。自宅近くのホームセンターに温度計を買いに出かけ、棒状温度計以外に「地下5cm+地表0cm」の園芸用？2連の温度計の存在を知り、早速購入し高原の温度測定に用いた。前年までは夏の案内人活動が中心でしたが、今年は温度測定を通しての初春の花々との出会いが特に印象に残りました。

1 - 2008 - 4 - 26 乙女高原の温度測定

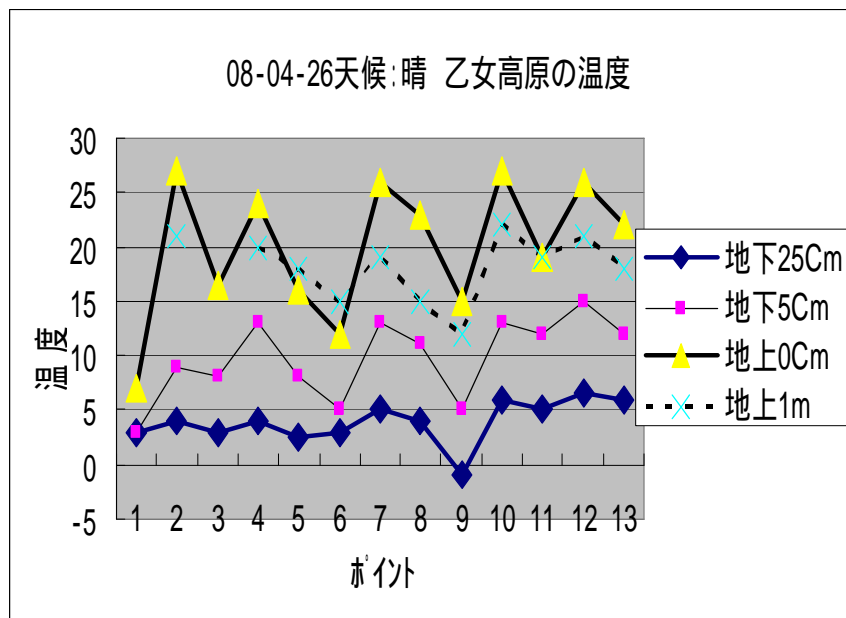
森のコースから三角点そしてブナ爺の垂直方向と草原のコースを含む草原全域の温度測定を行った。そこで「地下25~30cm」と「地表(地上0cm)」の温度に注目しました。

「地下25~30cm」は時間・気温・太陽光等の関連性が少なく、地下の温度はほぼ安定している。しかし、ブナ爺付近は午後から太陽光が射し、北風を受けるため地下の温度が-1と低い値が測定された。

「地表(地上0cm)」太陽からの輻射熱を吸収し予想以上の温度になっていた。枯れ草の上に座るとホカホカと心地よい暖かさであり、枯れ草や落ち葉の間に咲く、フデリンドウや各種スミレなどの気持ちが分かるような気がする。

「地下5cm」地表温度の影響は受けるが、土の熱伝導により軽減されている。

「地上1m」1mの棒の先端に温度計を置いての測定のため、地上各種の温度変化の要因が影響し測定値がばらついていく。



2008/4/26		
項	測定ポイント	測定時刻
1	P-1 ロッジ 日陰	10:20
2	5 本目の杭	10:40
3	P-2 森のコース	11:00
4	P-3	11:15
5	P-5 ツノハシバミ	11:35
6	P-5.1	11:50
7	富士ビュー	12:15
8	三角点	12:25
9	ブナ爺	12:36
10	ロッジ 展望	13:16
11	駐車場手前	13:45
12	丸太橋中間	14:05
13	丸太橋	14:15

図1 平成20年4月26日温度測定

2 - 草原入口の温度（ロッジ前 掲示板横 2008-05-12~09-01、11-23）

「地下25~30cm」測定開始の前日、5月11日は遊歩道作業の予定日であったが、朝の高原には薄く積雪があり作業は延期された。やがて地表からの水蒸気が上がり10時頃には雪も溶けて無くなった。5月初旬の雪には驚いたが草原にはすでにスミレなどが咲いていた。

5月12日から11月の測定結果をグラフで描いてみると9月にかけてゆっくりと草原の温度

は上昇し、11月23日の草刈頃には草原の温度も低下傾向を示している。

地表(地上0cm) 7月25日に最高36を観測したが、8月は背の高い草に覆われ半日陰となり、また雷雨が頻発し草原の天気もくるくる変わり地上温度も低めである。

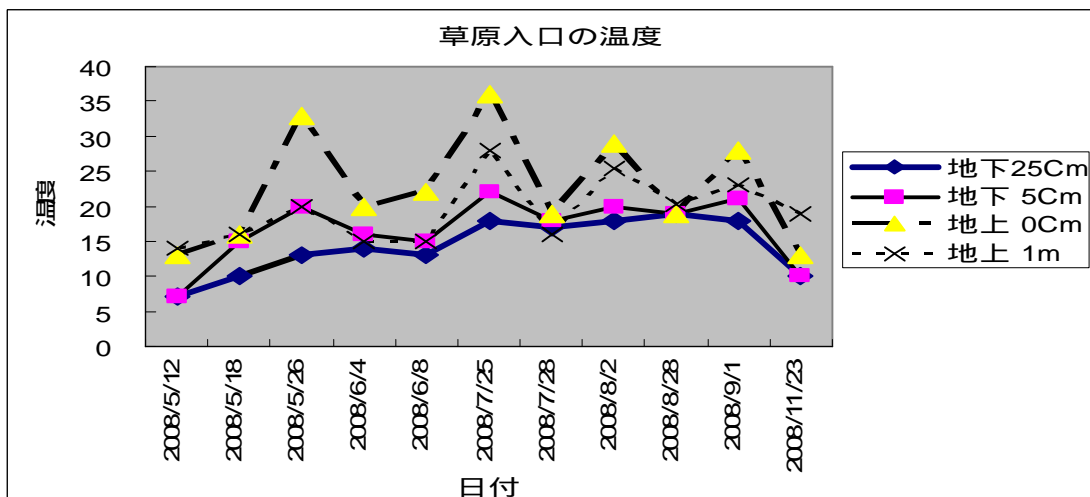


図2 平成20年5月～11月23日の草原入口の温度

3 - 測定結果より

日ごろ土を扱っている方はご存知と思うが、乙女高原の地下温度もほぼ安定していることが分かった。1年間を通し急激に変化する地表の温度環境と異なり、地下で生活する小動物や地下に根を張る植物には快適な環境を与えているのだろう。

初春のスマレ、フデリンドウ、ミチバツチグリ、キジムシロなどは小ぶりで地表近くで生育するため、太陽照射角度が低く照射量の少ない時期に一生懸命に太陽光を浴びている花の姿が思い出される。真夏は太陽の照射量も多くなり、地表面が高温ではと予想されるが高茎植物の葉に覆われて、昆虫達の日陰を作っていた？

富士ビューから高原コース入口の尾根筋は草原部分より日の当たる時間が長く、6月のレンゲツツジが草原より尾根筋が先に咲き始めるのはこのためか？

ブナ爺付近は、北風の影響、午後からの太陽照射などの条件で草原に比べ、地下温度も低く植生も草原と異なっている。

温度測定結果よる素人の大胆な推察です。皆様のご意見もお聞かせ下さい。

4 - 今後の課題

- (1)地下5cm～1mの温度変化をデータロガー等の電子機器により、年間の定点・定時観測を行い、現状の温度環境の把握と数年後に比較できるデータの収集を行いたい。
- (2)鹿の食害による植生減少が言われるが、現状は感覚的表現に留まっている。現在の草原の植生は？過去の写真との比較や将来に比較できる写真等の記録収集を行いたい。
- (3)当初計画した花暦はまだ調査不十分であり、今後も継続した観察を行いたい。以上

クニちゃんの乙女高原自然観察記

乙女高原案内人 内藤邦雄

平成16年(2004年)

甲府で2004/7.21に40.4(乙女高原は25)で全国的に猛暑、案内人となって初めての夏。無数のアサギマダラの乱舞に感動、ヒョウモンチョウ、クジャクチョウに感激、山の花撮影に足しげく通う、パソコンメール不調のため自主活動には参加できず。6月の案内人養成講座のおりに出会ったマイズルソウ、ギンリョウソウに大感激。山の花も百花繚乱。

平成17年(2005年)

空梅雨で山の花の生育悪し、カラマツソウは花の柄に虫が入り多くが折れていた。アマドコロ、オオバギボウシは鹿の食害大、前年のように花は見られず。チョウの乱舞も見られない。
(自宅付近...ツマグロヒョウモン多し、カワラヒワ・ツグミ多し)

平成18年(2006年)

前年に続いての空梅雨に加え、全国的な日照不足のため昨年にもまして山の花の生育悪し、カラマツソウは前年の影響か激減。アマドコロ、オオバギボウシも前年の影響のためか激減。アマドコロ、オオバギボウシは数すくないのに鹿の食害で花はほんのわずか。加えてクガイソウに鹿の食害大、シオガマギク等にも被害が拡大。スズキ、ヤマアワ、イタドリ、シダの繁茂と鹿の食害は大きな問題。今年も焼山峠で小熊が、ロジ前の三叉路で熊の目撃情報あり、ドングリ不作の影響か。乙女へ22回。

「新たな出会い...トモエソウ、カセンソウ、ハナイカリ、ヒメトラノオ(白花)、ノギラン、レンゲショウマ、フユノハナワラビ、クモキリソウ、サンリンソウ、クリンユキフデ」

(自宅付近...ツマグロヒョウモン多し、カワラヒワ・ツグミ多し、トノサマガエル沢山)

平成19年(2007年)

観測史上例がないほどの暖冬、雪なし、雨なし。草原が至るところイノシシにひどく掘り起こされていた(今年はじめて?)。また、森のコースはウラジロモミの幼木が数多くシカに樹皮を食われていた。今年は特にひどい。

マルハナバチの姿が極端に少ない。春先の高温、その後の低温で女王蜂が死んだのだろうか?

6月は空梅雨、日中は暑くも朝夕は涼しく、7月は雨と日照不足、そのため山の花の丈は小さい。スズキが例年以上に元気で他を押さえ込んでいる感じ。8月10日から8日間猛暑日続く。カラマツソウは虫の被害なく花数多し。ウメバチソウ、ハナイカリは9月に入って開花。

「新たな出会い...ワチガイソウ、ルイヨウボタン、オオヒナノウスツボ、ヒメトラノオ(白花)、アキカラマツ」
コウリンカ、オトギリソウ、カラマツソウは多し。シシウド、ノダケ、ハバヤマボクチは少なく、丈短し。(自宅付近...?ツマグロヒョウモン少なし・幼虫も見ず、カワラヒワ・ツグミ少ない、トノサマガエルは畑で多く冬眠、カブトエビ、ホウネンエビ、オタマジャクシが水田で観察できた、バンは7月に入ってから鍛冶屋敷と土尻で各1羽確認、7月27日アブラゼミの脱け殻3個確認・セミも例年どうり)

8月に入り梅雨あけ後の暑さとともに、マルハナバチ・アサギマダラ・アブラゼミ・ツマグロヒョウモンが少し多く見られる。8月10日から17日まで連続猛暑日、16日には多治見市&熊谷市で40.9度となり74年ぶりに最高気温を更新。乙女高原でツマグロヒョウモンを自分の眼で確認、前年は植原先生が確認済み。暖冬のため成虫で越冬したのか? 乙女へ18回

9月9日乙女高原で7種めのマルハナバチとなるクロマルハナバチ確認 DNA鑑定の結果、大型のコマルハナバチと判明。残念

平成20年(2008年)

雪が多かったので、イノシシの草原内の掘り起こしはなし。乙女へ14回

(自宅付近...ここ数年水田で営巣・子育てが確認されたバンの姿見れず)

こんなふうに記録しておく、本人のためにも、またみんなのためにも(共有財産にも)なりますね。なお、希少種の記述については削除させていただきました。(植原編集)

今年の乙女高原は・・・春が早い？ 遅い？

山梨市の市街地ではサクラの開花は3月23日でした。早く咲き始めすぎて、「入学式のころには散っちゃうぞ」と思われていました。でも、その後、思いがけずに「花冷え」が続き、山梨市の街中では4月6日の入学式が満開のサクラで迎えられました。

では、乙女高原の春の訪れはどうだったでしょうか？ ヤマアカガエルの産卵を通して見てみましょう。

毎年、山口奥の道路脇の水たまりでヤマアカガエルの卵が見られます。昨年は3月9日。カエルも観察できたので、卵を産んだばかりだったと思います。ところが、今年は2月22日にはすでに卵がありました。「まだ卵なんてあるはずない」と思いながらも、それでも車を止めて見たらあったので、あわててしまいました。

乙女高原の湿地はどうだろう？と気になりましたが、3月23日にも3月30日にも卵はありませんでした。ちなみに、昨年は3月29日に、2007年は3月31日には卵を確認しています。山口のカエルは2週間も早かったのに、乙女で見られないということは・・・？ 心配になりました。でも、心配無用でした。4月4日、ようやく卵が確認できました。産みたてホヤホヤの、まだ水分を吸っていない卵です。去年・一昨年に比べ、山口とは逆に4～6日遅い産卵でした。

里に近い山口ではサクラを早く開花させた温かい天気によってカエルが早く産卵してしまい、逆に標高の高い乙女高原では、その後の花冷えのため、産卵が遅くなってしまったのではないかと推測しました。そういえば、3月30日には、湿地近くで高さ25センチという巨大霜柱を発見。氷の途中に節が見られないので、おそらく一晩でできた霜柱だと思えます。乙女高原の花冷えはハンパじゃないなと思えました。(植原)

ご寄付をありがとうございました

乙女高原ファンクラブは皆様からの貴重なご寄付によって運営されています。

石嶋基次様、小林 茂様、桜林新吾様、天野秀光様・啓子様、齋木秀二様、野村藤春、高橋幸子様、宮崎継雄様、西室順子様、芳賀月子様、竹内まさ子様、奥野榮造様、鈴木 勲様、鈴木 健夫様、中山寛満様・さかえ様、小林美珠様、秋元由喜子様、名執真理子様、伊藤紀恵様、菅原美和子様、綾田浩子様、杉浦 好様、岡野清美様、大水達也様、渡辺秀治様、坂本 浩様、雨宮 久様、飯塚保衛様、伏見 勝様、古屋明子様、依田長泰様・敏美様、永原章二様、竹川吉定様、西川 昇様、桐原武仁様、小口勝子様、益田碩哉様、茅沼昭八様、谷村伸一様、柿崎洋子様、石橋純二様、野口美津子様、辻万里奈様、渡辺隆夫様・マツノ様、佐藤陽子様、樋口裕峯様、山下證喜様、古屋孝子様、雨宮 寛様、井上淳様・由紀江様、由井建蔵様、長濱義隆様、渡辺幸子様、小松澤靖様、宮原孝男様、高橋 徹様、竹居小枝子様、加藤信子様、倉光 剛様・加寿子様、川畑悦子様、宮野嵐禾様、植原 彰様、植原 彰様、臼井 豊様、樋川エミ子様、小池きよ子様、藤井智枝様、土屋充子様、三枝昭子様、中野加津美様、小林キミ子様、天野安子様、内藤邦雄様、由井建蔵様、加藤信子様、古屋利雄様、高橋 弘様、福田 茂様、植原 彰様、たちありさ様、たち満里奈様、杉本朋子様・館幸美様、奥脇洋子様、筒井美代子様、愛川町ダックスクラブ様、佐藤国彦様、飯嶋美紀様、青木隆明様、天野奈枝様、大沢弘子様、花木久美子様、内藤邦雄様、樋口禎男様、岡部恒彦様、山梨市観光協会牧丘支部様、小林栄勝様、浅井聡司様、竹居小枝子様、半場良一様・みゆき様、古屋利雄様、(匿名希望)様、小林奈都夫様、奥山永雄様、山下 隆様、坂田英明様、小林直樹様、植原 彰様、益田碩哉様、福永秀雄様、高橋徹様・弘様、瀬間和子様、飯嶋美紀様、奥山永雄様、小笠原恭子様、竹居小枝子様、飯嶋美紀様、三枝かめよ様・健一様 (2008年3月21日～2009年3月末日までに寄せられたもの)

郵便振込用紙を同封しました

毎年、年に一度、郵便振込用紙を同封させていただいております。寄付金の送付に使っていてもいいですし、乙女高原案内人養成講座の報告書の通販用に使っていただいても結構です。



今回で第10回をむかえる

乙女高原の遊歩道づくり

乙女高原は標高1700メートル。冬は長く厳しいので、植物たちが花を咲かせるまで何年もかかります。しかも、乙女高原の植物の多くは背が高く、踏まれるとダメージが大きいです。

そのため、毎年、遊歩道にロープを張り、そこから中には入らないようお願いしてきました。

今年も、古くなった杭を替えたり、杭にロープを結びつけたりという作業を行います。春の乙女高原で、すがすがしい汗をかきませんか？



2006年の遊歩道づくりの様子。大勢の方が参加してくださるので、午前中ですべての作業が終わるようになりました。

5月10日(日) 午前9:30 ~ 午後2:00の予定

集合：乙女高原グリーンロッジ
(電話 0553-35-3866)

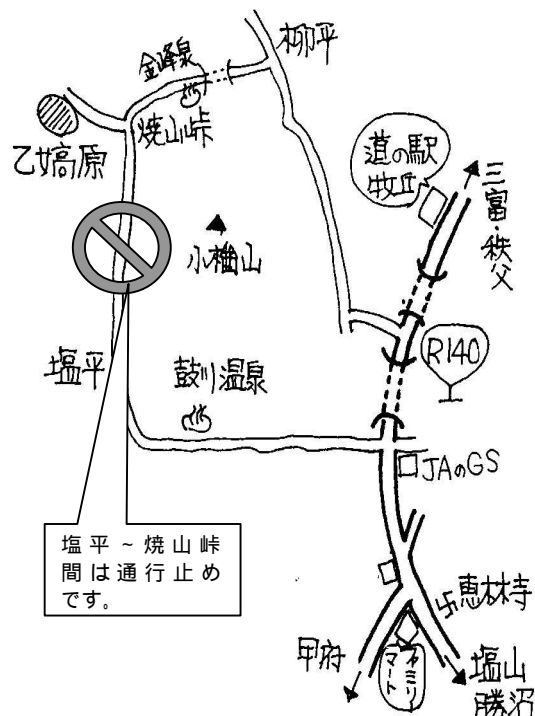
少雨決行。荒天の場合17日(日)に延期します。雨天の場合の判断は各自でお願いします。なお、事前申込みをしてくださった方には、中止の場合、連絡をします。

持ち物：べんとう、雨具、軍手。

掛け矢、なたなどの道具がある方はご持参ください。

服装：作業のできる服装。5月とはいえ、天気が悪いと寒いです。防寒の準備を。

作業内容：くい打ち、ロープ張りなど
行事保険には市の予算で加入します



問い合わせ / 申し込み

山梨市役所観光課 〒405-8501山梨市小原西843
TEL 0553-22-1111(代表) 0553-20-1354(直通)

乙女高原ファンクラブの事務局だよ

新着情報

同封の、2008年度活動報告ダイジェスト、2008年度総会資料(2009年度活動計画を含む。案ではなく、総会で承認・確定されたものです)、もご覧ください。

乙女高原ファンクラブの世話人会は原則毎月第3水曜日夜7:30-9:00まで牧丘町総合会館で行っています。どなたでも参加できますので、ぜひ一度、のぞいてみてください。

長らく品切れになっておりました乙女高原フィールドガイド『乙女高原のお花たち』を修正の上、増刷しました。ご活用ください。なお、増刷の費用には、(株)田丸グリーン基金からいただいている協力参加費を充てました。

ファンクラブの最新情報についてはウェブサイトをご覧ください。



乙女高原案内人
誕生と成長の記録
乙女高原ファンクラブ

乙女高原ファンクラブの刊行物

乙女高原インタープリテーションのテキスト『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』
(A4判186ページ)乙女高原案内人養成講座の中身と、その後の案内人の活動の様子を一冊の本にしました。希望者には実費でお分けします。1冊1000円、送料は一冊につき80円。欲しい方は郵便振込で一冊につき1080円分を送金してください。

マルハナバチの観察と調査のおともに『マルハナバチ ウォッチング』
(A3判両面カラー)マルハナバチの生態、ファンクラブで行っている調査、乙女高原のマルハナバチの見分け方をコンパクトにまとめました。欲しい方は事務局までご連絡ください。



春から夏にかけて咲く草花のガイド『乙女高原のお花たち』
(A3判両面カラー)乙女高原フィールドガイドの第1号です。春から秋にかけて咲く47種類の草花を写真つきでコンパクトに紹介。草丈の表示や草花を一言で表したコメントはオリジナルです。欲しい方は事務局までご連絡ください。



乙女高原ファンクラブの普通会员になりませんか？

乙女高原ファンクラブの会員には普通会员とサポーター会員の2種類があります。会報(ニュースレター)は年4回発行予定です。今回の会報は普通会员・サポーター会員の両方に送っていますが、あとの3号は普通会员にしか送りません。乙女高原での活動を多くの方に知ってもらいたいので、できるだけ普通会员での入会をお勧めください。サポーター会員の方も、できれば普通会员になってください。会員が増えることで、乙女高原を守りたいというファンクラブの発言権も強くなります。

乙女高原ファンクラブに入会するには・・・

- ・「入会します 氏名・郵便番号・住所・電話番号」と、入会のご意志を事務局まで届けてください。だれでも、いつでも、だれでも会員になれます。ファックス、メール、手紙が確実です。
- ・入会金も年会費もありません。
- ・普通会员には年4回、サポーター会員には年1回、ニュースレターが届きます。
- ・普通会员には総会出席の義務がありますが(委任状可)、サポーター会員にはありません。
- ・そして・・・、乙女高原を守る力が1人分、大きくなります。

乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3
TEL/FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@kcnet.ne.jp
会報への原稿や写真等の投稿もこちらにお送りください。
WEB <http://www.kcnet.ne.jp/~otomefc/>

郵便振込 (番号)0220-8-71093 (加入者名)乙女高原ファンクラブ